

授業科目 臨床医学総論 II

【担当教員名】 追手 嶺	対象学年	2	対象学科	臨床
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○		

【概要・一般目標：G10】

疾患の成り立ち、各種疾患の病態、特徴について基礎的知識を習得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

理想的な臨床検査技師、臨床工学士になるためには、臨床検査業務、医療機器使用業務を実行するだけでなく、それらの意義を十分理解する必要がある。そのために上述の概要に記した修学が必須である。具体的には、

1. 各種疾患の場となる各臓器・器官の解剖学的特徴を考慮して疾患の成り立ちを説明する。
2. 各種疾患の場となる各臓器・器官の機能学的特徴を考慮して疾患の成り立ちを説明する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脳・神経疾患の概要（1）	1,2	講義
2	脳・神経疾患の概要（2）	1,2	講義
3	運動疾患の概要	1,2	講義
4	アレルギー性疾患・膠原病・免疫不全症の概要（1）	1,2	講義
5	アレルギー性疾患・膠原病・免疫不全症の概要（2）	1,2	講義
6	代謝・栄養障害の概要（1）	1,2	講義
7	代謝・栄養障害の概要（2）	1,2	講義
8	感覚器疾患の概要	1,2	講義
9	中毒の概要	1,2	講義
10	染色体・遺伝子異常症の概要	1,2	講義
11	皮膚および胸壁の疾患概要	1,2	講義
12	救急時の対応（1）救急患者の症状	1,2	講義
13	救急時の対応（2）救急蘇生法の実践	1,2	講義
14	まとめ（1）	1,2	講義
15	まとめ（2）	1,2	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	臨床医学総論・臨床検査医学総論	奈良 信雄	医歯薬出版	2003・5,400円＋税
参考書	からだの構造と機能	A. シェフラー、S シュミット	西村書店	1998・4,800円＋税
その他の資料	坂井 建雄			

【評価方法】

提出レポート（20%）、定期試験（80%）

【履修上の留意点】

教科書の重要項目、それ以外の教材をプリント、及び教科書への書き込みにより、効率よく基本を理解することに重点をおく（教科書1冊を最大限利用する）。参考書は本教科以外にも解剖、生理学の参考書としても役に立つ内容が豊富なので、購入することを勧める。ただし、図書館に配備してあるので利用して下さい。